

一般社団法人
日本グラウンドマンホール工業会
事務局 大石 直豪

第34回 GM維持管理推進委員会議事録

1. 開催日時 令和6年2月22日（木） 10時00分～11時40分
2. 開催場所 （一社）日本グラウンドマンホール工業会事務局会議室/Zoom
3. 参加者 (敬称略)

委員長	吉開 守
副委員長	井上 好道
委員	萩野 豊明
同	松村 孝
同	荒木 勇輝
同	山下 俊哉
同	手嶋 泰三
同	畑 信行（代理出席）（オンライン）
事務局	大石 直豪

合計9名

欠席	松島 誠二
	清水 壱浩
	竹中 史朗（オブザーバー）

議事経過

初めに事務局より開催宣言と、本日の出欠状況について報告があった。その後、吉開委員長より、「今日の委員会は今年度の活動を共有し、次年度の活動計画をお示しするので議論をお願いしたい。来年度に向けて下水道業界も上下水道行政の統合やW-PPPの導入など、より効率的な維持管理を求められるような変化があるが、新しい制度ができるとGMが置き去りになる傾向があるため、JGMAとしても適切な維持管理を訴えていくことを踏まえて次年度の計画を立案しているので、議論をお願いしたい。」と挨拶があり、議題に入った。

議題1：令和5年度 委員会活動状況の共有について

事務局より、議案書に基づき委員会活動状況について詳細な説明があった。

その後、吉開委員長、手嶋委員より以下の補足説明があった。

1. [地整、県への活動について]

茨城県研修会後の追加アンケートはJGMAが行った。GMの総設置基数、改築数を主に調査。静岡県も研修会後に、静岡県が主体となって、GMの総設置基数、改築数の他にGMに関する事故件数、事故の概要までを追加アンケートを収集し、アンケート回答はJGMAにも共有される。

奈良県は、事前に県に調整し研修会で変遷表の活用事例を紹介して貰うなど工夫を行った。

2. [標準PPTの改定について]

1) 管路協向けは、研修会に事業者も参加することも多いこともあり、地整・都道府県向けと同じ内容に改定したが、業者のみ参加の場合はカスタマイズも可能なように改定した。スライド37、40の巡視記録表と調査項目を手引Ver5の13項目に合わせて改定した。

2) 地整・都道府県向けは、スライド23に企画記事、P24～P25に地方紙で掲載された新聞記事を追加している。

3. [国交省ガイドライン等へのGM反映]

昨年度当初よりAMガイドライン策定の委員会で3回検討が行われているが、2回目から「事業マネジメントガイドライン策定」へと名称変更され、下水道施設を包括したガイドラインが今年度内に示される予定との情報を得ている。

新たなガイドラインが示されると研修会での解説も増えると思われるので、GM更新に関する説明内容を今後検討していく。

4. [マンガ広報誌の配布状況]

今年度、マンガ広報誌1～3弾を1セットにし、且つQRコード付きチラシを用いて再活動しようとしていたが、まだ活動が充分ではない。JGMAの会費収入から膨大な金額を費やして用意したため、リカバリー含めて有効活用をお願いする。

・委員の質疑

1) 改築サイクルをJGMA調べとして公表した都道府県庁の反応はどうか。

⇒特にネガティブな反応は無く、下水道着手後の経過年が浅い事業者も含めた値であるため、概ね実状を示しているものと思われる。更に、国交省が市町村別の総設置基数や不具合件数などの調査を行う動きもあり、動向を把握し改築サイクルの精度を高める根拠としていく。

2) 管更正事業に予算が配分され、GM更新予算に繋がらない実態がある。

⇒管更正は1億円/Km費やされており、GMは1kmに30箇所改築工事費含めても900万円。管路の改築サイクルは1,000年サイクルであるが、最近塩ビ管で整備されているため、更正の対象ではなくなるため、GM改築へ予算配分をシフトして貰う必要がある。

3) 平受けGMを勾配受に変えて以降、G-4レベルへ改築の必要性が理解されない。

⇒単なる勾配受GMだけでは機能が不足している陳腐化GMとして、正しい情報を訴えていく必要がある。

以上により、議題1を終えた。

議題2：令和6年度 委員会活動計画の共有についてその他

吉開委員長より、議案書に基づき令和6年度の委員会活動計画について説明があった。

特に、国交省、国総研からGMの総設置基数や不具合件数などの調査が行われれば、事業体の適切な維持管理意識にも影響を与えることが期待できるため、変化があれば情報共有すると補足説明された。その後、委員からの質疑を受け付けたが特に無く、事務局より3月の理事会に計画を報告することが告げられた。

続けて、事務局より令和6年度の当委員会予算（案）について説明があった。

以上により、議題2を終えた。

その他

事務局より、以下について説明があった。

1. 令和6年度の当委員会の定例委員会開催日程、工業会全体の行事日程（案）について
2. 委員の変更等があれば事務局へ届出いただくこと

以上により本日の議事を終え、最後に井上副委員長より、「原材料、燃料の高騰が続いている中ではあるが、国交省、国総研からの調査等の新たな動きも示されたため、今後の改築需要に繋がる活動を継続していきたい。」と挨拶があり委員会を終えた。

この議事録を証するため、委員長次に記名押印する。

令和6年2月22日

一般社団法人
日本グラウンドマンホール工業会

GM維持管理推進委員会委員長 吉開 守

吉
開